



ごあいさつ

理事長 新居 栄治

平素より、私ども「四国ろうきん」に対しまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、2025年度の経営活動と成果をまとめたディスクロージャー誌「2026四国ろうきんの現況」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

「ろうきん」は、働く仲間がお互いに助け合うために生まれた協同組織の福祉金融機関です。激動する社会情勢の中でも、常に働く皆さまに寄り添い、共に歩んでくることができましたのは、会員の皆さまをはじめ関係各位の温かいご理解とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

さて、「四国ろうきん」は、2026年4月1日に創立25周年という大きな節目を迎えました。この記念すべき年に、2024年度からスタートした「第9期中期経営計画」はいよいよ最終年度の総仕上げの時期に入っております。

昨今の経済環境は、本格的な「金利のある時代」への移行や、不安定な国際情勢に伴う物価変動など、大きな転換期にあります。このような環境変化に迅速かつ柔軟に対応するため、私どもは将来にわたる健全な財務基盤の構築を最優先し、低利の長期国債の入れ替えなどポートフォリオを大胆に見直しました。これは、未来永劫、お客さまに最高の安心をお届けし続けるための戦略的な決断であります。

経営の根幹においては、昨年度に引き続き「人的資本経営」を推進しております。最大の強みである「人材」の可能性を最大限に引き出し、役職員一人ひとりがお客さまの立場に立った最適な提案を行える組織をめざしてまいりました。その結果として、お客さまの夢の実現や、ご家族の幸せな暮らしに貢献することこそが、福祉金融機関としての存在意義（パーパス）であると確信しております。

25周年という節目を超え、その先にある「10年後のあるべき姿」に向かって、これからも地域に根ざし、皆さまに選ばれ、信頼され続ける存在であり続けるよう、全力を尽くしてまいります。

本誌を通じて、私どもの機能や役割、そして地域社会への取り組みについて、より一層ご理解を深めていただければ幸いです。今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2026年7月